

# こんにちは 議会です!!



## コロナ禍の成人式



- 12月定例会・臨時会 …… 2
- 補正予算を審議 …… 3
- 総務常任委員会 …… 4
- 産業建設常任委員会 …… 5
- 町政を問う(9人が一般質問) …… 6
- 広報常任委員会 …… 11
- 議会改革特別委員会 …… 12
- 広域行政 …… 13
- 結のひと 結のまち …… 14

# 12月定例会

12/4

12/21

# 臨時会

11/30

12月定例会が開催され、予算6件、条例3件など12議案を可決しました

## 予算

◎補正予算  
一般会計(10、11号)  
6401万円増  
総額  
60億6826万円

## ◎特別会計

●後期高齢者医療事業  
124万円増  
●介護保険事業  
56万円増  
→4ページ参照

## ◎企業会計

●水道事業  
99万円増  
●下水道事業  
(収益の補正)  
収支3259万円増  
→5ページ参照

## 条例

◎町議会議員および町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

●ポスター、ビラ、選挙運動用自動車にかかる費用の一部を公費負担



## その他

◎彦根愛知犬上広域行政組合規約の変更協議  
●斎場、新しいごみ処理施設、廃棄物中継施設の設置と運営の事務を追加  
◎彦根市・犬上郡宮林組合規約の変更協議  
●事務所を大滝山林組合に移転

## 請負契約の変更

◎樋田地区急傾斜地崩壊対策工事(第2工区)  
●金額 137万円増  
総額 6264万円  
●契約の相手  
(株)オミ建設



## 条例の一部を改正しました

◎職員給与に関する条例  
◎特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例  
◎防災・減災、国土強靭化対策の推進を求める意見書

## 意見書を提出しました

防災・減災、国土強靭化対策を求める意見書  
近年、全国各地で大規模自然災害による甚大な被害が相次いでいる。この対策として、国においては、令和2年度までを実施期間とする「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を策定し、予算を大幅に増額することにより、地方とともに集中的に取り組んでいるところである。  
しかしながら、社会インフラは依然として脆弱であり、道路・河川、ため池等の防災・減災、老朽化対策を今後も推進する必要がある。  
よって、以下の措置を、強く求める。  
記  
1 「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」および関連する財政措置を、令和3年度以降5年間継続すること。  
2 インフラの老朽化対策、安定的な輸送を確保するための基幹道路網のダブルネットワーキング強化など対象事業を拡充すること。

# 暮らしに安全・安心を



# 予算特別委員会

12/11

おもな予算項目	(万円)
絵馬通り旧遠藤邸の解体にかかる費用	396
パソコン機器購入(イベント用)	41
道路の補修工事(町道5ヶ所)	175
ゴミ収集業務の委託料(粗大ごみ)	120
土地改良事業補助(水谷区の用水路)	13
小規模獣害対策補助(10件分)	48
コミュニティバス運行対策費	27
住宅リフォーム補助(1件分)	20
保育所広域入所の委託料(他の市町へ)	240
小中学校の光熱水費	167
学校コロナ対策備品購入(加湿器など)	350
多賀小学校職員の駐車場整備	89
新・認定こども園建設の用地測量	965
家庭用ネット通信機器購入(貸出し用)	13
教科書改訂による図書購入	267
滝の宮スポーツ公園トイレ補修工事	69
都市公園予定地測量	500

## 問 旧遠藤邸の解体と その後の利活用は

◎答 相続人が不在のため、弁護士を管理人に選任し、解体費用の見積りを取り、予算の不足分を計上する。解体後は、区が所有する駐車場と宅地に分譲し、町道を拡幅する。

## 問 コミュニティバス 運行対策費の増は

◎答 元年末で、ブリヂストン線、大君ヶ畑線、萱原線が一部廃線になった。甲良線と多賀線の2路線の不足分を計上した。

## 問 新・認定こども園 の測量は

◎答 多賀幼稚園を認定こども園にする。計画では、現在の園舎の横に新築する。通園用進入路など新たに用地を確保するための測量である。

## 問 小規模獣害対策の 補助は

◎答 サルの被害が増加しており、65歳以上の高齢者向けの獣害対策に補助する。上限が5万円で、10件の申請がある。



家庭菜園のフェンス

## 問 学校のコロナ対策は

◎答 教室での換気用に網戸を整備する。空気清浄機、加湿器、行事用の大型テントを購入する。



空気清浄機

## 問 家庭用の ネット通信機器は

◎答 オンライン授業などに対応できるよう、機器のない家庭に貸し出すために、無線ルーターを購入する。



ルーター(イメージ)

## 問 小中学校の光熱水費 の増額理由は

◎答 新型コロナウイルス感染症対策で、エアコンを中心に電気料金が増額している。



教室エアコン

## 問 多賀小学校職員の 駐車場整備は

◎答 谷田団地内の用地にフェンスと看板を設置する。



## 問 スポーツ公園トイレ の修繕は

◎答 滝の宮スポーツ公園の屋外トイレで、内部のタイルの一部がはがれ落下の危険性がある。原因を調査するための工事。



# 総務常任委員会 12/9

条例1件、補正予算2件を審査しました

町議会議員および町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

町議会議員選挙に供託金制度の導入は  
供託金は15万円

選挙運動用ポスター作成費用は  
356、178円  
(限度額)

16	13	10	7	4	1
17	14	11	8	5	2
18	15	12	9	6	3

選挙運動用ビラの作成限度数は  
町長 5000枚  
議員 1600枚

公費負担の対象は  
一般運送契約  
(ハイヤー等)  
上限64、500円×日

## その他の契約

自動車借入(レンタル)は  
上限  
15、800円×日

燃料供給の契約は  
上限  
7、560円×日

運転手雇用の契約は  
上限  
12、500円×日  
(※運動日数のみ)

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

介護サービス給付費の1300万円の増減の内容は

本町の介護サービスは、居宅介護より施設介護を利用される方が多い。居宅介護サービス給付費から施設介護サービス給付費に予算を変更する。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

システム改修の内容は  
個人住民税の基礎控除が33万円から43万円に改正され、所得判定するための改修。



# 県の琵琶湖流域下水道事業会計 東北部処理区から 剰余金3155万円

## 産業建設常任委員会 12/10

補正予算2件、規約の変更2件を審査しました

下水道会計補正予算(第1号)  
99万円増

下水道会計補正予算(第2号)  
歳入3979万円増  
歳出547万円増



雨水排水工事(藤瀬地区)

下水道99万円の増は藤瀬地区の雨水排水工事で水道管移設の測量設計が必要になった。

藤瀬地区の雨水排水工事は3年度で終わるか  
3年度に県道側溝まで接続し完成。

剰余金は  
5年ごとに精算。

彦根愛知犬上広域行政組合規約の変更協議  
不燃ゴミ中継地の変更・新ゴミ処理場建設等

彦根市・犬上郡営林組合規約の変更協議  
事務所を彦根市から大滝山林組合内に移転等

## 閉会中の調査 11/12

福祉保健課所管の事務調査をしました

高齢化率は  
平成29年度以降、横ばいで令和2年10月末で33.3%。(県内平均で26.3%)

要介護の認定者数は  
認定者数は363人  
令和2年3月末時点で14.9%となり、全国と滋賀県の水準を下回っている。(県内で16番目)

介護給付費の推移は  
費用額は、平成23年度は6億4千万円であったが、9年間で1億6千万円増加し、令和元年度では8億円となった。その中で、施設サービスの費用額が全体に占める割合は44.9%と増加している。(県内で5番目)

## コロナ対策

高齢者の在宅支援は  
地域包括支援センターが中心となり、事業をおこなっている。

新型コロナウイルス感染症の影響による町内福祉施設の様子は  
クラスター対策が一番重要視される。  
県を主体に湖東圏域での支援体制づくりをすすめている。

健康チェックは  
厚生労働省からの施設対応感染防止対策マニュアルに準じて管理している。

タブレット端末および通信ネットワーク環境整備は  
小中学校3校のLAN環境の整備は完了。  
12月に充電保管庫の整備をする。

納入台数は  
620台購入。



充電保管庫

## 閉会中の調査 11/13

地域整備課所管の事務調査をしました

下水道施設の老朽化対策で各施設を視察した

- 水源地(表流水)  
萱原、南後谷、大君ヶ畑
- 水源地(浅井戸)  
敏満寺、川相、大君ヶ畑
- 水源地(深井戸)  
中川原、土田、二本施工中
- 浄水場  
敏満寺、川相、仏ヶ後、大君ヶ畑、南後谷
- 配水池  
大谷第1、大谷第2、梨ノ木、川相、高取、大杉、萱原、南後谷、大君ヶ畑



梨ノ木、大谷配水池への送水管300mmの老朽化  
昭和51年布設

送水管・配水管  
最大管径300mmなど。総延長は約140km、うち15kmは老朽管。

萱原地区急傾斜地対策  
事業予定地視察

犬上川左岸で住居5軒の裏山が崩落のおそれがあり、対策の要望が出されている。



落石の危険

「都市計画道路原松原線」外町交差点渋滞解消トンネル工事視察  
事業延長1.7km、国民スポーツ大会までに供用をめざす。



トンネル掘削現場



敏満寺浄水場

昭和48年築造  
耐震化が課題

※川相浄水場からの送水管も布設から相当の年月が経過している。「土田新水源近くに浄水場の建設を考えられないか」との意見もあった。

# 町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

町政を問う

質問事項	ページ
富永 勉 ◎公共交通利用促進会議の進捗は ◎鳥獣被害、カワウ対策は	7
神細工 宗宏 ◎原木価格が低迷する中、森林を守る施策は	7
近藤 勇 ◎県道多賀醒井線の改修は ◎観光資源の面的活用は	8
松居 亘 ◎認知症対策は	8
川添 武史 ◎緊急防災施設の進捗は ◎コロナ禍の中、生活困窮者への支援は	9
山口 久男 ◎介護保険制度と高齢者対策は ◎小中学校のトイレの改修、洋式化は ◎耕作放棄地の現状と今後の見通しは	9
清水 登久子 ◎庁舎内の啓発・情報紙の管理、工夫を ◎庁舎内エレベーターの案内板に工夫を	10
菅森 照雄 ◎ゴールドトライアングル計画の取り組みは	10
大橋 富造 ◎マイナンバーカードの普及努力を ◎新婚世帯に補助金を	11

## 質問1 公共交通利用促進会議の進捗は 課題解決に向けて検討



富永 勉

**問** ①公共交通利用促進会議の進捗状況は  
②地域ごとの意見の聞き取りの結果は  
③「巡回バス」と「愛のりタクシー」について、どちらの要望が多いのか  
④「愛のりタクシー」の要望が多い場合、定着、利用の促進をどのように進めるのか  
⑤「巡回バス」の要望が多い場合、実施の可能性は

**町長** ①公共交通利用促進会議は、これまで2回の会合を開催し、委員の意見にも隔たりがあり、容易に結論を出せるものではない。

「バス路線を廃止した地域を先行して対策を検討する事」「買い物定期便の施行運用について」「地域ごとの聞き取り調査の実施」など課題解決に向けて理解を得たい。

②「愛のりタクシー」には、多くの方から評価を得ている。  
③「巡回バスの運用」は、利用価値は低く、無駄になるとの意見や、一方で巡回バスを望む声も一定数ある。  
④「愛のりタクシー」を廃止し巡回バスに変更する」と言った意見は出ていない。  
⑤ニーズが多い場合には、各補助金制度や道路運送法の問題も踏まえ、検討していく。

### 鳥獣被害、カワウ対策は

産業環境課長

**問** ①多賀森林循環事業協同組合に託す町長の思いは  
②山の荒廃防止対策は  
③林道・作業道の点検、整備の頻度は、どの程度おこなわれているか。  
点検、整備の町の関与は

**町長** ①林業の不振は10数年前から始まっている。86%の森林を守る町として、平成24年からワーキングチームを立ち上げ28年から「地方創生推進交付金」を利用し、林業の基盤づくりと木材産業の活性化に取り組み、中央公民館建設もその一環であった。



### 原木価格が低迷する中、森林を守る施策は循環システムをめざす

神細工 宗宏

①多賀森林循環事業協同組合に託す町長の思いは  
・町内に原木流通施設がない  
・木材乾燥設備や木材加工機械がない  
・本町は木材の産地であったが、木製品の販売力が乏しい  
などの課題を解決するために、民間主導の組織「多賀森林循環事業協同組合」を設立した。  
第二期の地方創生推進交付金の採択を受け、原木流通土場・太陽光を利用した乾燥設備・事業者のニーズに合わせた製材加工施設を設置し、「多賀町らしい」森林資源の循環をめざす。

②山林の荒廃は自然災害の発生につながるため、国、県の補助制度と町の助成の見直しをはかり、山林所有者に負担をかけるない搬出間伐を進め、少しでも所有者に還元していきたい。  
森林境界明確化も地元と協力しながら進める。  
③町林道の点検は雪解後、豪雨や台風の後点検し、損傷があれば補修。他の林道は各組合に管理を委託している。



木材乾燥機

町政を問う



かわぞえ たけし 川添 武史

# 質問1 緊急防災施設の進捗は 国の動向を見極める



**問** デジタル防災行政無線について執行者より、メーカー、機器の形式などがさまざまであり、本町に適した方法を選定し、報告するとの説明であったが、その後の進捗状況は

**町長** 現在の検討状況は全国的に主流の

**答** 同報系デジタル防災無線・FMラジオ波

- ・地域振興波
- ・ポケベル用周波数
- ・携帯電波網を活用した無線方式5つを有力候補としている。

デジタル庁の動向を見極めながら進めていく。

**福祉保健課長**

**答** 生活保護の受給世帯は16世帯、相談件数は7件。

コロナによる収入減少による影響とは関係なかった。

町政を問う



こんどう いさむ 近藤 勇

# 質問1 県道多賀醒井線の改修は 順次整備する



**問** ①県道路整備アクションプログラムでの位置づけと、進捗状況は

②安全対策として、カーブミラー、標識等の設置の考えは

③待避所の設置の考えは

**地域整備課長**

**答** ①平成30年度に見直され、令和9年度までの10年間の道路整備計画となっている。

前期道路整備アクションプログラムの継続事業で、久徳から山女原までの事業区間では、狭小区間を中心に拡幅整備し、事業が途切れることなく継続。谷沿いの道路拡幅は、m当たりの工事費が高額となり、年度ごとの事業延長が短くなるざるを得ない。

②河内の風穴や夏場の河川敷での利用者が増加し、道路に不慣れたドライバーも多い。

慎重な運転を促すための標識等による注意を喚起する。

③狭小区間から道路整備が進められ、未整備区間も順次、整備する。

**問** ①観光資源の積極的な情報発信の考えは

②町全体を通じた観光ガイドボランティアの活動、または連携は

③観光の巡回バスの考えは

**産業環境課長**

**答** ①観光協会が、ホームページ・パンフレット・フェイスブック等や、ラジオ・テレビ等のメディアで発信している。

②今年にはコロナ禍の影響で活動も少ないが、昨年度は22団体を受け入れた。③導入にあたっては、地域の特性など十分に見極めて対応したい。

町政を問う

**福祉保健課長**

**問** ①第8期高齢者福祉計画および介護保険事業計画は

②高齢者世帯の現状は

③高齢者に重い負担の介護保険料引き下げ抑制は

④財政基盤安定化で国庫負担金の引上げ要求は

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。



まつわたる 山口 久男

# 質問1 介護保険制度と高齢者対策は 安心して暮らせる地域づくりを



**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①「コロナ禍の影響で十分な活動ができなかった。今後は状況をみて、養成講座を計画的に開催したい。

②毎年開催の「認知症を学ぶ集い」で配布している他、各種団体の集まりや出前講座などで配布。

③機会を通じて認知症当事者の声の把握に努めるとともに、近隣市町での開催も模索したい。

④地域のサロンだけでなくさまざまな高齢者の集いの場など、あらゆる活動を通して、「通いの場」の活動内容を拡充していく。

⑤過去に認知症の人が電車にはねられ死亡し、遺族に多額の損害賠償を請求されたが、最高裁で否定された事例もある。今後の動向を注視する。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

# 認知症対策は 「通いの場」の拡充



まつわたる 山口 久男

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①「コロナ禍の影響で十分な活動ができなかった。今後は状況をみて、養成講座を計画的に開催したい。

②毎年開催の「認知症を学ぶ集い」で配布している他、各種団体の集まりや出前講座などで配布。

③機会を通じて認知症当事者の声の把握に努めるとともに、近隣市町での開催も模索したい。

④地域のサロンだけでなくさまざまな高齢者の集いの場など、あらゆる活動を通して、「通いの場」の活動内容を拡充していく。

⑤過去に認知症の人が電車にはねられ死亡し、遺族に多額の損害賠償を請求されたが、最高裁で否定された事例もある。今後の動向を注視する。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。

**問** ①「認知症サポーター養成講座」について、今後の取り組みは

②「認知症ケアパス」の普及活用について、今後の取り組みは

③「本人ミーティング」の開催についての考えは

④適度な運動、生活習慣病の予防、社会参加が認知症の発症を遅らせる効果がある。「通いの場」の拡充に向けた取り組みは

⑤鉄道事故などを起こした場合に備えるため、認知症の人や監督義務者（家族等）を被保険者とする民間の損害賠償責任保険の加入支援の考えは

**福祉保健課長**

**答** ①誰もがいままで安心して暮らせる地域づくりを基本理念に位置づけ策定に取り組む。

②999世帯。

③国のさまざまな制度改正を踏まえ検討している。高齢者に現状より大幅な負担増にならないよう検討したい。

④すでに国に提出済み。



認知症サポーター養成講座

質問1

# 庁舎内の啓発・情報紙の管理、工夫をより徹底した管理をおこなう



しみず とくこ  
清水 登久子



**問** ①相続法改正により自筆証書遺言保管制度が始まっている。その改正や内容を知る機会がほとんどない。  
その改正等のわかりやすい冊子が、1階の税務住民課にはなく、2階の総務課にあった。  
必要とする人のために目につく所、持ち帰りやすい場所に設置を  
②約40年ぶりの大きな改正であり、特に女性の権利にかかわる内容が多い。広報等で周知に工夫を

**総務課長**  
**答** ①啓発紙やお知らせのチラシなどをできるだけジャンル別に置き、より徹底した管理をおこなう。  
②大きな改正である。広報で周知する。

## 質問2 庁舎内エレベーターの案内板に工夫を

**問** 案内板の表示は設置されてはいるが見えにくい。もっと目につきやすい工夫を



**総務課長**  
**答** 車椅子の方や高齢者の視線の高さに合わせて大きな文字で表示する。ほかの案内についても再点検する。

質問1

# マイナンバーカードの普及努力をさらなる普及促進に努めたい



おお はし とみ ぞう  
大橋 富造

**問** 従来からカードの普及に向け情報発信されているが、目標達成には至っていない。  
①交付率15・3%は数値的に見てどうか  
②年齢構成、男女別に見た交付状況は  
③窓口以外の申し込み方法は  
④大勢が集まる諸行事がなくなってきた。  
今後の出張受付は  
⑤職員の時間外手当等の予算確保の考えは

**答** ①交付率は低いと認識している。  
②20歳未満の取得が少なく、男性の方が取得率が高い。また家族での申請が増加している。  
③パソコン、スマートフォン、また郵送でも可能。  
④さらなるコロナ対策を講じて再開をめざす。  
⑤職員の事務負担に配慮しつつ、体制づくりをおこなう。

## 質問2 新婚世帯に補助金を

**問** 少子化対策の一環として、新婚世帯の新生活にかかる家賃や敷金、礼金、引っ越し代などの費用に補助を

**企画課長**  
**答** 結婚後の定住対策・子育て支援に取り組んでいる。  
国は初婚年齢も上がってきている現状を踏まえ、現在の少子化対策に使える自治体向け交付金の増額を新年度予算の概算要求にあげている。  
その結果で対応したい。



すが もり てる お  
菅森 照雄

## ゴールデンライアングル計画の取り組みは駅周辺の整備が課題

**問** 中心市街地の活性化として、多賀ゴールデンライアングル計画はサービスエリア↓駅前↓多賀大社を結び、この地域を回遊し賑わいを取り戻す構想で、その実現に向けて絵馬通りが整備された。  
現在、第6次総合計画、都市計画マスタープランの策定が進んでいる中で

①絵馬通りの活性化の取り組みの現状と、今後は  
②多賀大社前駅周辺の整備計画が見えない中、スマートインターチェンジ下り線出口から駅周辺への誘導は

**町長**  
**答** ①道路のハード整備に区切りが付き、店舗の充実に向けて取り組んでいる。  
また、文化財保存活用地域計画に絵馬通りを位置づけ、門前町としての往時の面影を残しながら、賑わいを作ることの重要さにも着目し取り組む。

②駅周辺整備の計画は、ほかの事業の計画、とくに国道8号バイパスのルート決定により大きく左右される。  
現時点では情勢を見極めながら、最も適切な時期に総合的な判断をする。スマートインターの出方向は、供用開始当初は胡宮神社への一方向に



多賀大社前駅

## 広報常任委員会

11月5日「多賀結いの森」ささゆりホールで広報研修会があり、第166号のクリニックを受けた。

「読む！ 質す！ 生かす！」議員力を磨く広報作法&クリニックとして議会広報ファシリテーター・熊本大学客員教授越地 真二郎氏を講師に迎え、県下6町の広報委員が講演を受けた。



### 講師の評価は

全体を通して判りやすくまとめられていると評価をいただいた。  
議決内容のページは文字が多く、写真等で工夫すべき、また一般質問のページは、質問数の多い議員は二つの問答の内容が深まらず、質問を絞った掲載も検討の余地があると助言を受けた。

### 最優秀紙を研修

全国町村議会広報紙の最優秀賞を受賞された埼玉県寄居町の広報紙を研修しました。  
紙面全体で「議会報告会(意見交換会)」の記事をトップ企画で、参加者の「声」と名前、顔写真を併せてインパクトがあり親しみを感じられる。住民の「声」をどう議会に反映されているかも掲載していた。

# 広域行政の報告

## 彦根愛知犬上広域行政組合 不燃ごみ中継施設移転(東近江市小八木町) 新ゴミ処理場建設(彦根市清崎町)



中山投棄場は、令和3年3月31日で不燃ごみの受け入れを終了。令和3年4月1日から東近江市小八木町19番地(旧湖東町愛知郡清掃センター跡地)で不燃ごみの受け入れとなる。施設の移転に伴い、これまでの1市3町に愛荘町を加えた1市4町の不燃ごみ中継事業をおこなうことになる。(新ゴミ処理施設が完成予定の令和11年度までの措置。)

- 建設場所  
彦根市清崎町地先  
面積 約5・3ha
- 建設計画  
● 施設整備基本検討 令和3年上半期
- 敷地造成実施設計 令和3年～令和4年
- 環境影響評価 令和元年下半年～令和5年上半期まで
- 都市計画決定手続き 令和元年下半年～令和5年上半期まで
- 敷地造成工事 令和6年度
- 施設建設工事(実施設計・施工) 令和6年下半年～令和10年度

**彦根愛知犬上広域新ゴミ処理施設整備事業概要**

**焼却施設の規模**  
施設規模 147t/日  
処理対象ゴミ 燃えるゴミ、リサイクル施設からの可燃残さ、災害廃棄物

**リサイクル施設の規模**  
施設規模 35t/日  
処理対象ゴミ 燃えないゴミ、粗大ゴミ、資源ごみ(缶・金属類・ビン類)、ペットボトル、容器包装プラスチック、古紙、衣類、廃食用油、小型家電、乾電池、蛍光管



**彦根市・犬上郡営林組合事務所の移転**  
多賀町内の山林約940ヘクタールの森林資源の活用と下流域の自然災害防止を図ることを主な目的として管理している。現在の事務所の位置(彦根市役所内)を大滝山林組合へ移動し、事務事業の一部を大滝山林組合に委託し効率化を図るもので、12月議会に事務所の位置変更が上程された。変更時期は令和3年4月1日

**主な業務項目**  
● 議会運営関連  
文書・資料作成の補助、委員会等へのオブザーバー出席等

● 会計関連  
起票、出納処理、出納簿記帳等

● 一般事務関連  
予算・決算書作成、文書受領事務、文書作成、企画・施策案作成、監査資料作成、条例・規則の制定、改廃案作成、各種調査、届出書類等

● 山林管理事務  
施業(案)立案、補助金関連業務、山林・林道管理補助等

● 森林施業  
令和3年度は森林整備事業はおこなわない。

# 議会改革特別委員会



議会改革のための特別委員会を設置し、市民の皆さんに身近な議会となるための行動計画を作りました。

## 議会改革 4カ年の行動計画

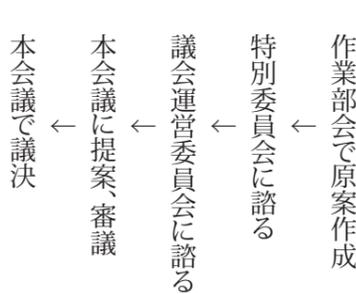
- おもな取り組み事項
- ① 議会基本条例の制定
  - ② 議会報告会(意見交換会)の開催
  - ③ 予算決算常任委員会の設置
  - ④ ペーパーレス化・タブレット化の導入
  - ⑤ 議員定数・報酬について

**議会基本条例作業部会**  
5人の委員で作業部会を構成し、基本条例の意義、条例の構成について検討を重ね、原案を作成しています。

### 条文の構成(主なもの)

- 議員の活動原則
- 市民と議会の関係
- 議会と行政の関係
- 自由討議の拡大
- 委員会の活動
- 議会事務局の体制整備
- 議員の政治倫理

### 今後のスケジュール



**議会報告会(意見交換会)作業部会**  
広報委員を中心に5人で構成しています。平成25年度に議会改革特別委員会が発足し、議会と市民の皆さんとが本町の今後を勉強する場として議会報告会を開催することになりました。

本議会は、今まで本町のいろいろな方からのご意見ご要望をお聞きしたいと思いい、各地域に向かいの議会報告会を準備してきましたが、開催するまでに至りませんでした。



**議会改革特別委員会**



### 意見交換会に向けて

本町も他市町の議会報告会でも一方的な議会での結果報告のみで、参加していただいている方には不足感があり、だんだん参加が少なくなってきました。

前述の議会基本条例の中にも掲げている「市民の皆さんとともに新しい本町を考える場」として、いろいろな課題をテーマに「意見交換会」を開催したいと思っています。

**日野町議会に学ぶ**  
他市町で「意見交換会」を開催されている議会を参考に研修しました。11月5日に、滋賀県日野町の議員の方と「意見交換会」にいたる経緯、その後の課題など直接お話を聞きました。

また、埼玉県寄居町の「議会広報紙」で、市民の皆さんとの意見交換会の記事を掲載され、全国町村議会広報紙コンクールで「最優秀賞」を受賞された広報を研修しました。



寄居町議会の広報紙

# 結のひと結のまち

第3回

## 「ドドラファミリ」の音楽を届けよう 「ドドラファミリ」

「ドドラファミリ」は障がいのある仲間が音楽を楽しみ、演奏活動をしているグループです。今年で結成18年目を迎えました。

結成当時は幼かったメンバーも今では全員が成人し、それぞれ地域の作業所や企業で働きながら、月2回程度皆で集まり「結いの森」の一室を借りて練習をしています。



グループを結成した頃は主に子ども達の療育を目的として活動してきましたが、彼らの成長と共に彼らの奏でる音楽の幅も広がっていき、今では福祉施設や病院での演奏会や自主コンサートを行い、多くの方々から私たちの音楽を聞いて頂けるようになりました。とにかく私たちは音楽が大好きなのです。

今年には新型コロナウイルス感染症の流行により、思うように活動できない期間もありましたが、夏ごろから練習を再開し次の目標に向かって頑張っています。



音楽には不思議な力があります

言葉では伝えられない  
本当に不思議な力です。

私たちの合言葉は「ドドラの音楽を届けよう」  
聞いてくださる皆さんの心に響くような音楽を届けられるように、これからもみんなで仲良く心を寄せ合い、そして大好きな音楽の力を信じて活動を続けて行きたいと思えます。

私たちの住む

この世界が夢と希望、  
そして愛と思いやりの  
あふれる世界と  
なりますように……  
と願いながら。

ドドラファミリ代表

丸山 隆子 記

## 議会を傍聴してみませんか？

議員や町は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。是非お越しください。

### 3月定例会の予定

3月 5日(金) | 9:30~ 開会・審議

・町長が町政報告と議案提案を行う。

3月 8日(月) | 9:30~ 一般質問

・議員が町政について質問します。

3月26日(月) | 13:30~ 採決・閉会

・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。

議会事務局 ☎ 48-8126  
(有線) 2-2011



※座席は21席あります。

## 編集後記

二月梅見月、厳しい寒さの中にある小さな春はこれから」とあるように、コロナ禍で苦労をされ、窮屈な生活を感じておられる方も多いと思いますが、一日でも早く収束を迎え、明るい日々に戻れることを願う毎日です。

本町で初めて女性として議員に当選させていただき、女性の視線で、皆さんのご困り・お悩みのことへの解決に励みます。私たち議員の活動をお知らせする「こんにちは議会です!!」に関心を持っていただければ幸いです。

清水 登久子 記